



代っ子通信

令和6年12月18日

〈第42号〉

校長 平塚智康

6年生 STEAM プレゼンテーション

12月14日（土）、「KAGA STEAM Presentation 2024」がホテルアローレ特別会場で行われ、市内の小中学校の代表140人が、今年度取り組んだ課題解決型の探究学習「加賀 STEAM プログラム」の学習成果を発表しました。【STEAMのSはサイエンス（科学）、Tはテクノロジー（技術）、Eはエンジニアリング（工学・ものづくり）、Aはアート（芸術・文芸）、Mはマスマティクス（数学）の略です。】

本校の6年生は、2学期の総合的な学習の時間に、「山代の魅力アップに貢献しよう！」をテーマに探究学習に取り組んできました。各クラス、各グループで、STEAMを使った山代温泉の魅力アップ策を考え、11月末に、各クラス・各グループの探究学習の成果発表会を行いました。（本校同窓会長で、山代温泉まちづくり推進協議会事務局の後出先生にも参観していただきました。）そして、その中から、学校の代表を選び、今回のプレゼンテーション発表会に参加しました。

〈発表内容の概要〉

- 1組：人感センサーを使って、自分たちの作ったキャラクター「あいうえおんたまレンジャー」が、山代温泉の観光名所を説明する装置を作った。
- 2組：若い人たちに山代温泉に興味を持ってもらえるように、山代温泉PRVチューバーを作って、Vチューバーが山代温泉の魅力を発信する。
- 3組：山代温泉にちなんだLINEスタンプを作って、多くの人たちに使ってもらう。また、そのキャラクターを生かし、町歩きを楽しくするスタンプラリーを行う。

どのグループも山代温泉を盛り上げるためにどうしたらよいかを一生懸命考え、STEAMの要素を使ってアイデアを提案しました。代表の子たちのプレゼンもすばらしかったです。よくがんばりましたね。発表すごく上手やったよ。

〈プレゼンした6年生代表のみなさん〉

- 1組：〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん
- 2組：〇〇さん、〇〇さん
- 3組：〇〇さん、〇〇さん



6の1 ○○ ○○

STEAMの発表はめちゃくちゃきんちょうしたけど、話し始めるときんちょうがほどけていきました。はじまる前に、あおいさんと「もじもじしとるほうがはずかしいよね～」って話していたのもあり、明るく話すことができました。質問の時、むずかしい質問がくると思ってドキドキしてたけど、キャラ設定のことなど、答えやすい質問で安心しました。親にも、質問の返し方、めっちゃよかったよ！って言ってもらえてうれしかったです。他の学校の発表では、「おばけやしき楽しそうだな～。クオリティ高いな～！」と思いました。吉村先生、竹内先生、魚住先生のアドバイスも、自分たちの発表をよくしてくれたきっかけになりました。感謝しています。楽しい発表になったので良かったです。

6の2 ○○ ○○

今日、私はSTEAM発表をしてみてすごくきんちょうしたけど、練習通りに山代がどうなってほしいか、などについて言えたので良かったです。自分が言いたいことを相手に分かりやすく伝えるために大きい声で明るく発表することができたし、VTuberがかわいいなどという感想ももらえました。あと、質問されたことにもしっかり答えることができました。

それから他の学校の発表を見て、どうしたらプレゼンで人に分かりやすく伝えることができるのかが分かりました。効果をつけたり、大切なことを大きくうつして目立たせたりして、相手の気を引きつけたり、分かりやすく具体的にプレゼンしたりすることが大切だと思いました。そして、コメンテーターさんたちのお話からも、学べたことがたくさんあったので、この経験を生かしてこれからの活動もがんばっていきたいです。

6の3 ○○ ○○

私は、STEAMのプレゼンをして、きんちょうはたしかにしたけど、自分なりにはしっかりとプレゼンを発表できたと思いました。私が、このSTEAMのプレゼンで学んだことは、みんなに分かりやすく伝えるということです。これからもぜったいこの学習が役に立つと思うので、生かしてがんばっていきたいです。

教育実習 ～教師を目指す本校卒業生にエール！～

1月11日～22日の2週間、本校卒業生で大学4年生の加藤恵野さんが、4年3組担任の竹本京子教諭の指導の下で教育実習を行いました。2週間という短い期間でしたが、いろいろな先生方の授業を参観したり、4年3組で授業をしたり、様々な学級事務を行ったりしました。加藤さんは、すでに1学期に高校で2週間の教育実習を経験しているのですが、小学校の教員のきめ細かい指導や支援に、とても驚いていました。

加藤さんの教育実習のまとめの研究授業では、4年3組の子どもたちはすごく張り切って授業に参加し、加藤さんを助けていました。また、最終日には、4年3組の子どもたちが、加藤さんとお別れ会を企画し、加藤さんは涙なみだでした。4年3組の子どもたちの温かいホスピタリティマインドは、きっと加藤さんの「教師になりたい！」というモチベーションを後押ししたにちがいありません。私には、子どもたちから、先輩の加藤さんへのエールのように思えました。加藤さん、教師はとってもやりがいのある仕事です。がんばって私たちの仲間になってください。楽しみに待っています。



<加藤先生の研究授業より>